

咽頭結膜熱が増加しています!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 3	0	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 81	63	ヘルパンギーナ	↗ 8	7
咽頭結膜熱	↗ 41	19	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 53	43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 89	68	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 486	404	流行性角結膜炎(はやり目)	↘ 29	32
水痘	↗ 27	9	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 20	19	無菌性髄膜炎	↗ 1	0
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 89	63	マイコプラズマ肺炎	↗ 10	5
突発性発しん	↗ 29	28	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロウウイルス)	↘ 0	2

報告が多い感染症
 感染性胃腸炎
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
 伝染性紅斑

大きな流行が発生又は継続しつつある地域
 感染性胃腸炎 : 菊池
 伝染性紅斑 : 菊池、天草、熊本市

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロウウイルス)
熊本市保健所	1	34	13	41	99	4	10	40	10			13		19		1	4		
山鹿保健所		1			31			1	2			4	*	*					
菊池保健所		22	14	13	115	10	9	23	6		2	8		3					
阿蘇保健所				1	3								*	*					
御船保健所		1		2	32			1				1	*	*					
八代保健所		9	2	10	52	3		6	2					1					
水俣保健所		2	2	4	11			1			1		*	*			1		
人吉保健所	1	3		2	24	7		1	2			3	*	*			1		
有明保健所		9	9	4	57	1	1	4	3			10	*	*			4		
宇城保健所			1	6	38	1		1	2			12	*	*					
天草保健所	1			6	24	1		11	2		2	2							
計	3	81	41	89	486	27	20	89	29	0	8	53	0	29	0	1	10	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児科定点年齢	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上						
RSウイルス感染症	81	9	17	42	9	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	41	0	2	18	2	5	3	4	3	1	2	1	0	0	0						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	89	0	0	1	6	8	9	18	9	9	7	6	15	0	1						
感染性胃腸炎	486	2	26	65	61	44	45	43	25	37	16	24	46	11	41						
水痘	27	1	1	2	3	4	7	4	0	3	1	1	0	0	0						
手足口病	20	0	2	11	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0						
伝染性紅斑	89	0	1	4	6	9	14	5	13	12	8	9	7	0	1						
突発性発しん	29	0	10	16	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0						
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	8	0	1	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎	53	0	0	3	4	6	14	7	5	7	3	2	2	0	0						
眼科定点年齢区分	合計	0~5月	6~11月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	29	0	1	1	1	1	1	2	1	1	0	0	0	0	4	7	4	2	2	1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
無菌性髄膜炎	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
マイコプラズマ肺炎	10	0	2	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
感染性胃腸炎(ロウウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性感染症です。11/2~11/8以降増加傾向にあり、保健所別では、菊池からの報告が多くなっており、警報レベルに近づいています。年齢別では、1歳が全体の40%を占めています。

咽頭結膜熱は、消毒が不十分なプールを介して子どものあいだに流行することがあるため、「プール熱」と呼ばれることもあり、夏期に流行の山がみられますが、最近では秋と春にも流行の小さな山がみられるようになったといわれています。

感染経路は、プールを介した場合には、汚染した水が結膜に直接入ることと考えられており、それ以外では飛沫感染や手指を介した接触感染とされています。

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性感染症です。11/2~11/8以降増加傾向にあり、保健所別では、菊池からの報告が多くなっており、警報レベルに近づいています。年齢別では、1歳が全体の40%を占めています。

咽頭結膜熱は、消毒が不十分なプールを介して子どものあいだに流行することがあるため、「プール熱」と呼ばれることもあり、夏期に流行の山がみられますが、最近では秋と春にも流行の小さな山がみられるようになったといわれています。

感染経路は、プールを介した場合には、汚染した水が結膜に直接入ることと考えられており、それ以外では飛沫感染や手指を介した接触感染とされています。

症状
 5~7日の潜伏期を経て、発熱、のどの痛み、目の充血等の症状が出ます。頭痛、吐き気、腹痛、下痢を伴うこともあります。一般的には3~5日で軽快しますが、この病気を引き起こすアデノウイルスには、たくさんの種類があることが知られており、7型と呼ばれるウイルスの感染では、時に重症化することがあります。症状がみられたら、安静にしてお過ごし、医師の診察を受けてください。

予防
 流行時には流水と石けんによる丁寧な手洗い、うがいを励行し、感染者との濃厚な接触を避ける、タオルの共用を避ける等、感染予防に努めてください。
 熱が下がってもまだ体内にウイルスが残っている場合がありますので、症状がおさまっても2日間は、学校や保育園は休ませるなど無理をしないようにしましょう。